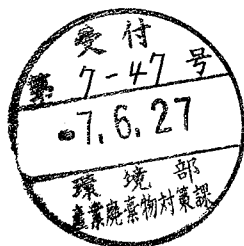


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年6月27日

柏市長 太田和美 殿



提出者

住 所 千葉県柏市増尾967番地

氏 名 ニッカウキスキー株式会社 柏工場

工場長 白銀 光治

電話番号 04-7172-4111

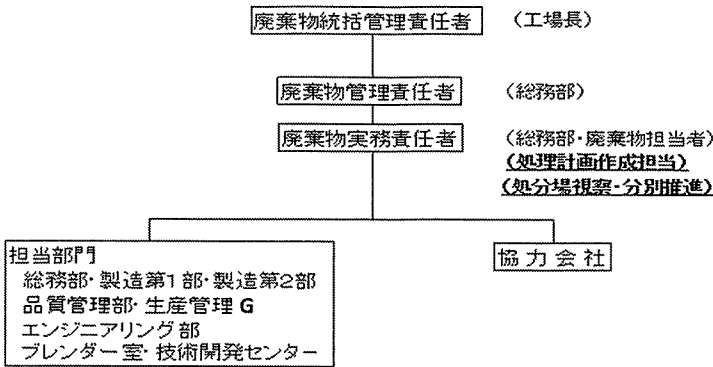
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ニッカウキスキー株式会社 柏工場
事業場の所在地	千葉県柏市増尾967番地
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：飲料・たばこ・飼料製造業 小分類：酒類製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額 370億円
③従業員数	137人(正社員64人、嘱託社員・契約社員等73人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2024年度) 実績】 別紙 1 参照		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙 1 参照		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再資源化率100%の維持・継続に向けた廃棄物の分別方法及び保管場所の継続的な見直し及び周知徹底並びに定期巡回の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 古紙及び金属等の排出物の有価物化促進に資する分別及び保管場所のあり方の継続的な見直し

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙1参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙2参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2 参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙2 参照		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙3 参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙3参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	排出量	66.7t	637.6t	58.0t	0.3t	0.4t	106.1t	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
	（これまでに実施した取組） ・製造工程の自動化及び設備メンテナンスの実施による不良品の発生抑制 ・蛍光管及び水銀灯のLED化推進 ・場内排水処理設備を活用した廃酸排出量の削減 ・非鉄金属の有償化推進							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	排出量	66.0t	631.2t	57.4t	0.3t	0.3t	105.0t	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
	（今後実施する予定の取組） ・工程管理レベルの向上による不良品発生率の一層の低減 ・蛍光管及び水銀灯のLED化推進 ・場内排水処理設備を活用した廃酸排出量の一層の削減							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量							
	（これまでに実施した取組） 該当なし。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量							
	（今後実施する予定の取組） 該当なし。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	587.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
	（これまでに実施した取組） ・排水処理設備の適正管理による余剰汚泥の発生抑制 ・脱水機の適正管理による脱水汚泥含水率増加の抑制							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0t	581.1t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
	（今後実施する予定の取組） ・排水処理設備の適正管理による余剰汚泥の一層の発生抑制 ・脱水機の適正管理による脱水汚泥含水率増加の一層の抑制							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2024年度）実績】								
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
産業廃棄物の種類								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組) 該当なし。								
【目標】								
産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
産業廃棄物の種類								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の取組) ・埋立及び海洋投入処分を行う計画はない。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	66.7t	73.4t	58.0t	0.3t	0.4t	106.1t	
	優良認定処理業者への処理委託量	24.0t	2.5t	8.2t	0.0t	0.4t	0.0t	
	再生利用業者への処理委託量	66.7t	73.4t	58.0t	0.3t	0.4t	106.1t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	42.7t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量							
	優良認定処理業者への処理委託量							
	再生利用業者への処理委託量							
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	（これまでに実施した取組）							
	・再生利用業者に対する産業廃棄物の全量の処理委託							
・認定外熱回収業者への廃酸処理委託量比率引上げ（2020年度実績37.1%）								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	66.0t	72.6t	57.4t	0.3t	0.3t	105.0t	
	優良認定処理業者への処理委託量	33.0t	0.1t	10.0t	0.0t	0.2t	0.1t	
	再生利用業者への処理委託量	66.0t	72.6t	57.4t	0.3t	0.3t	105.0t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	33.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	
	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量							
	優良認定処理業者への処理委託量							
	再生利用業者への処理委託量							
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	（今後実施する予定の取組）							
	・優良認定処理業者に対する処理委託の継続的な推進							



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年6月27日

柏市長 太田和美 殿

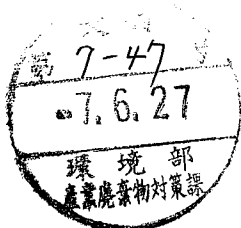
提出者

住 所 千葉県柏市増尾967番地

氏 名 ニッカウキスキー株式会社 柏工場

工場長 白銀光治

電話番号 04-7172-4111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ニッカウキスキー株式会社 柏工場
事業場の所在地	千葉県柏市増尾967番地
事業の種類	大分類:製造業 中分類:飲料・たばこ・飼料製造業 小分類:酒類製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

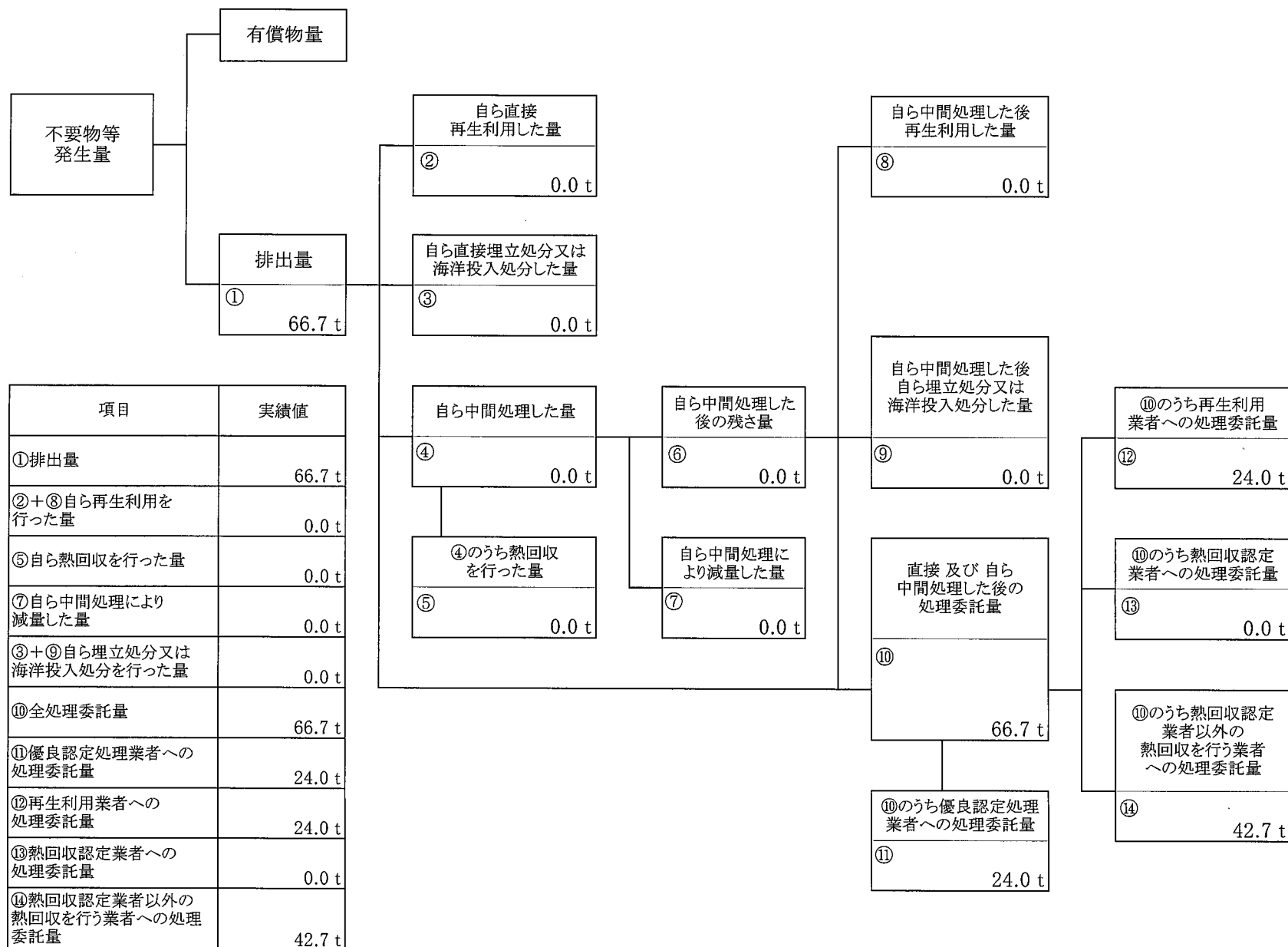
項目	目標値	項目	目標値
排出量	798.1 t	全処理委託量	281.3 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	38.6 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処理委託量	281.3 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	516.8 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	34.0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃酸

)



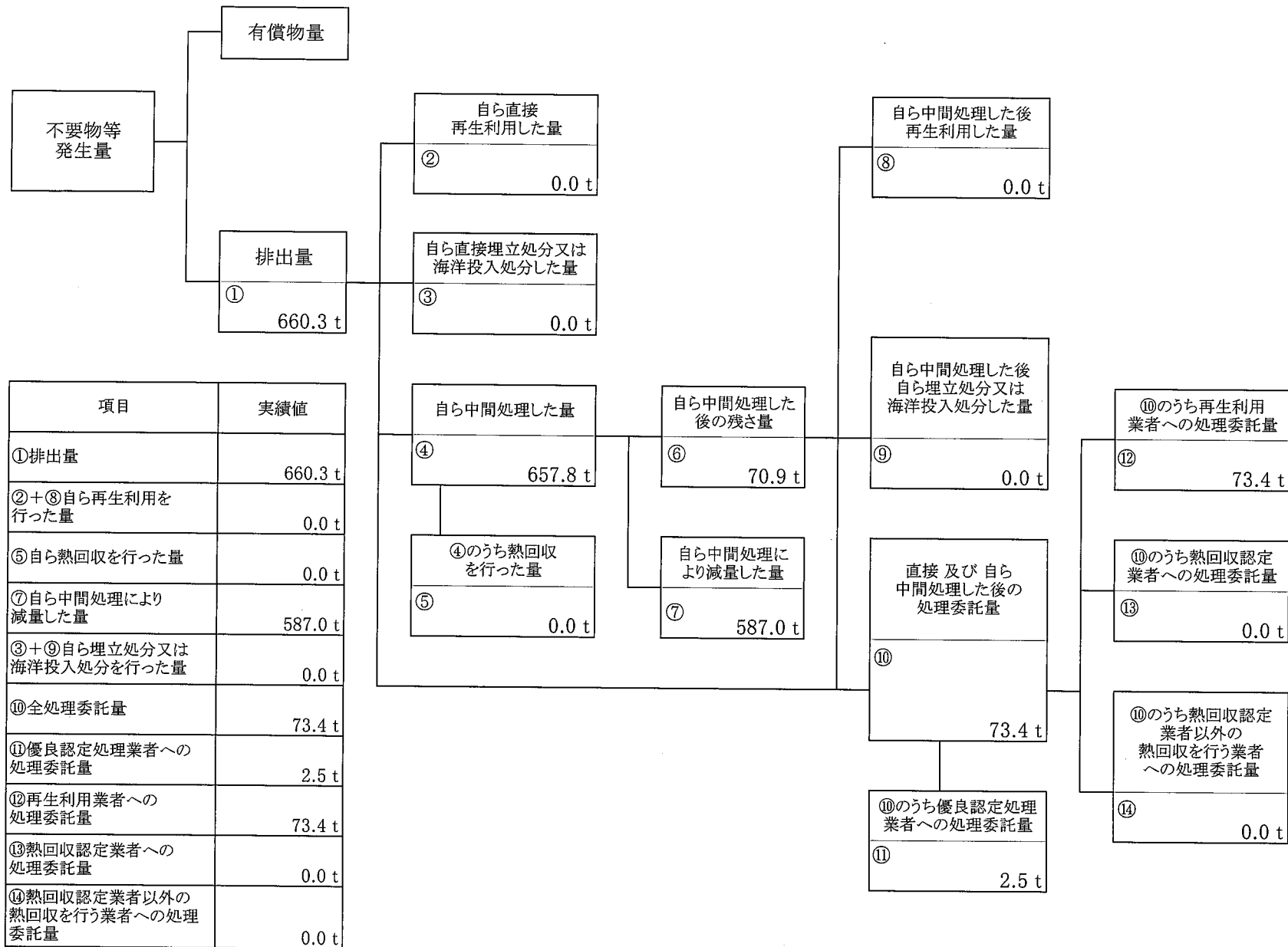
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



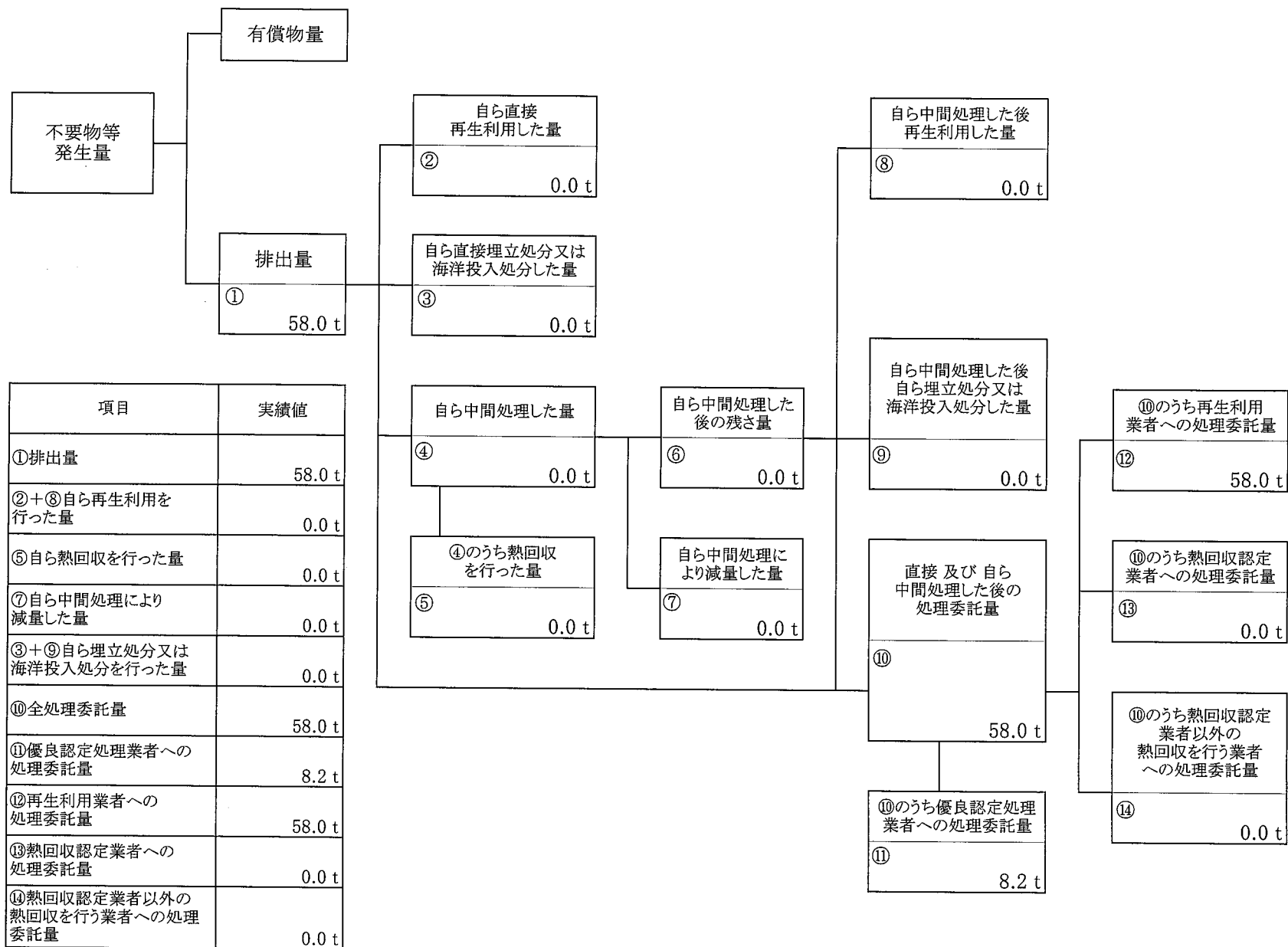
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



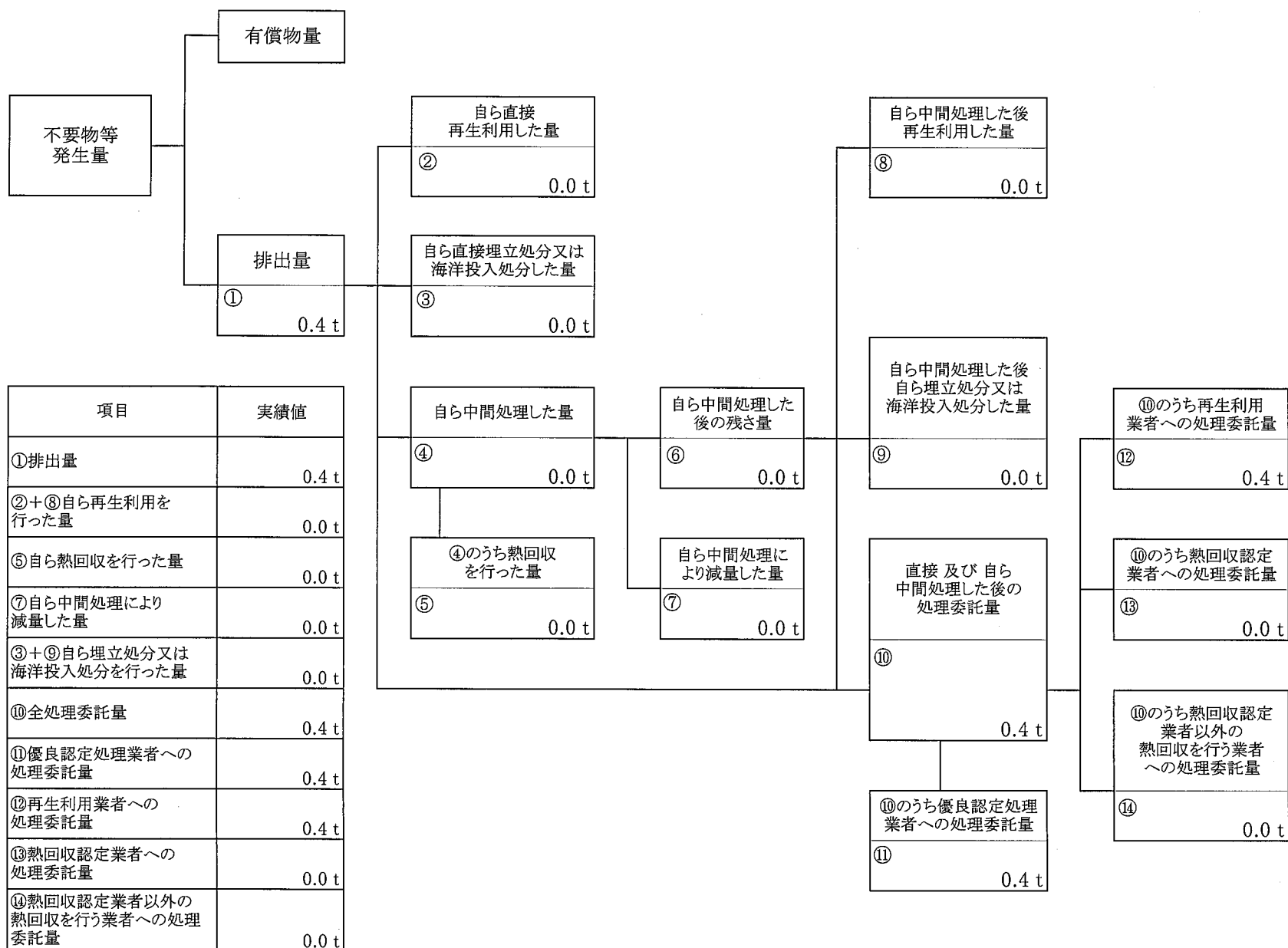
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃油

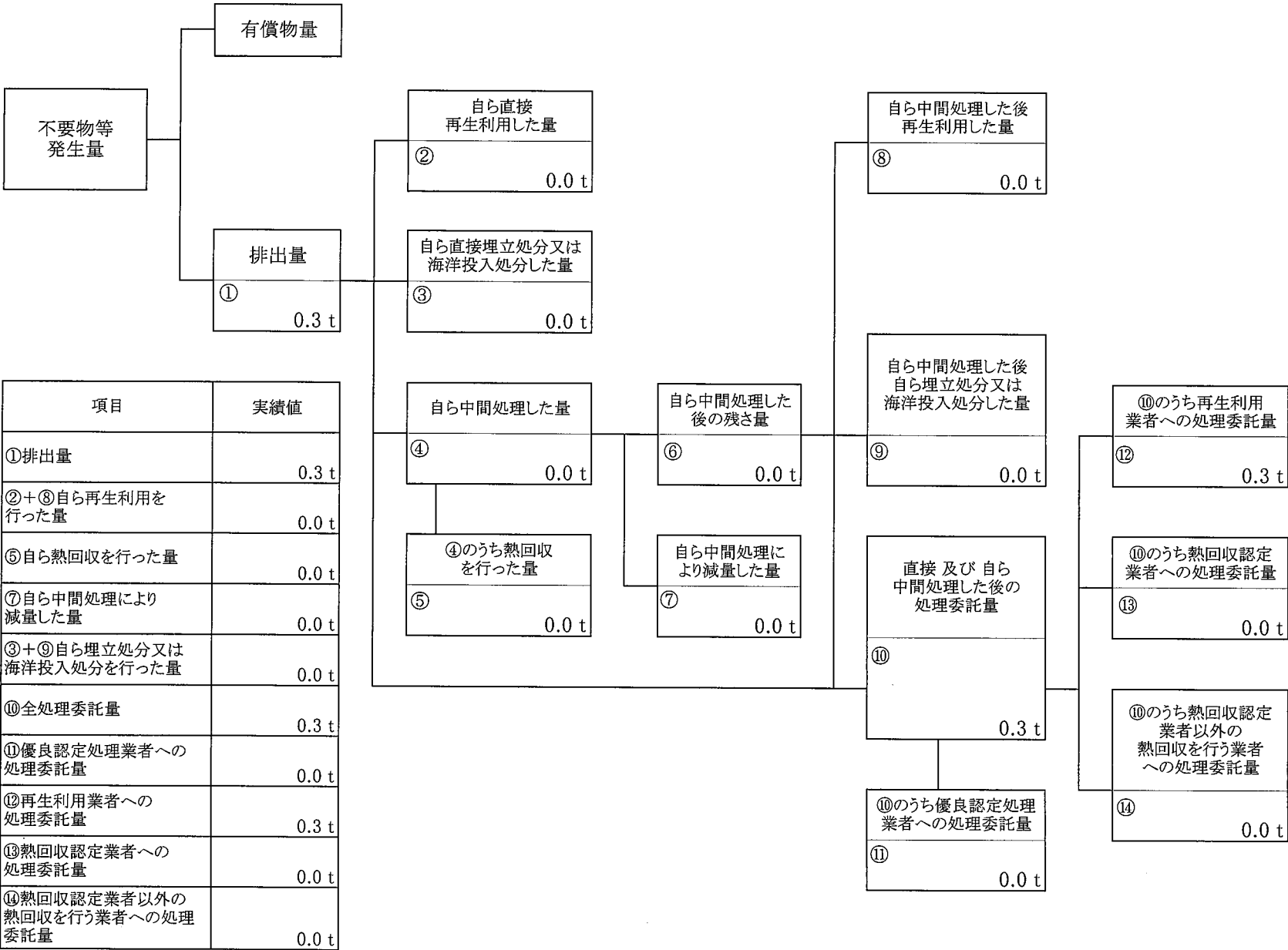
)



(第2面)

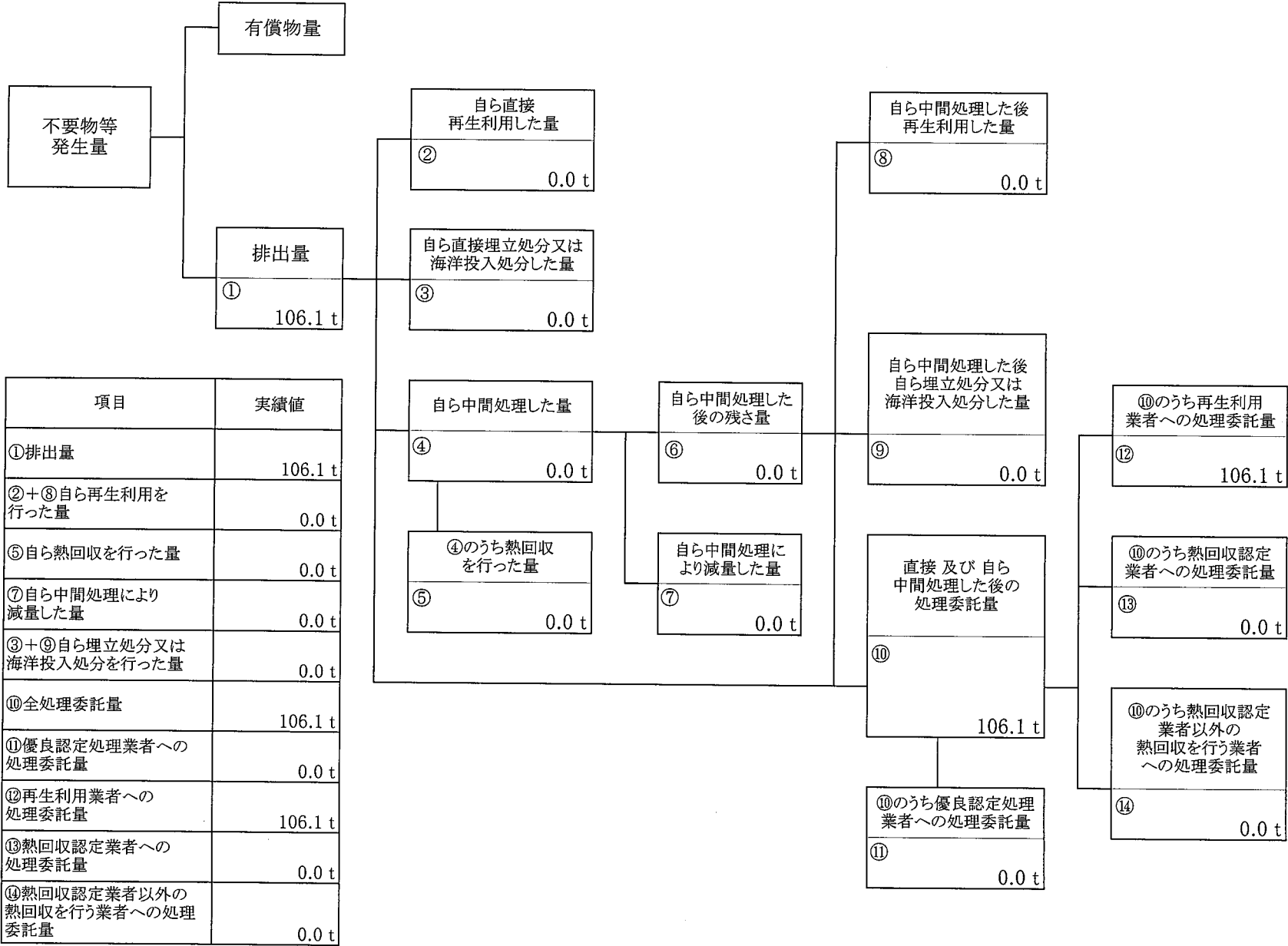
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

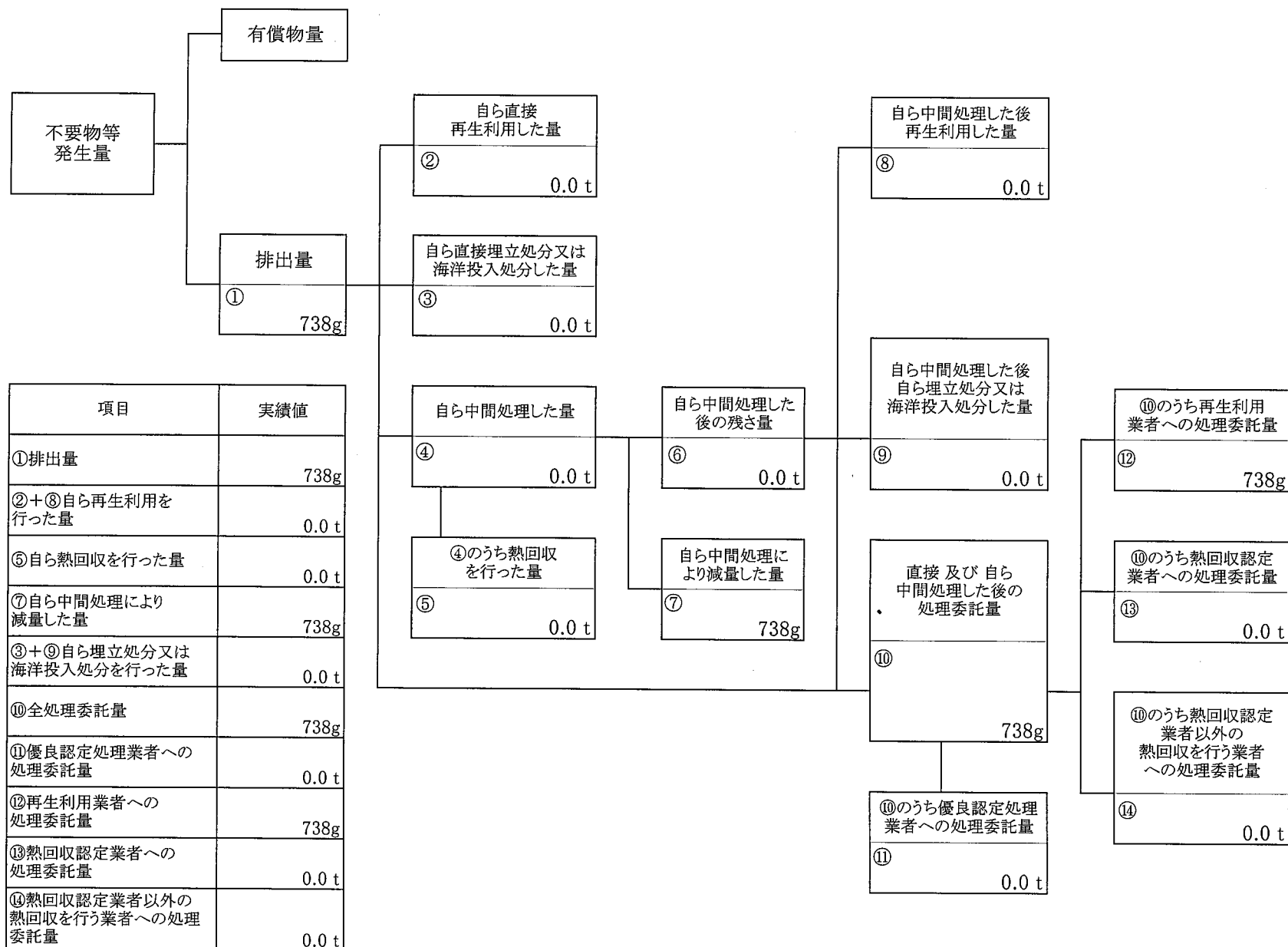


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥(有害)

)



(第2面)